

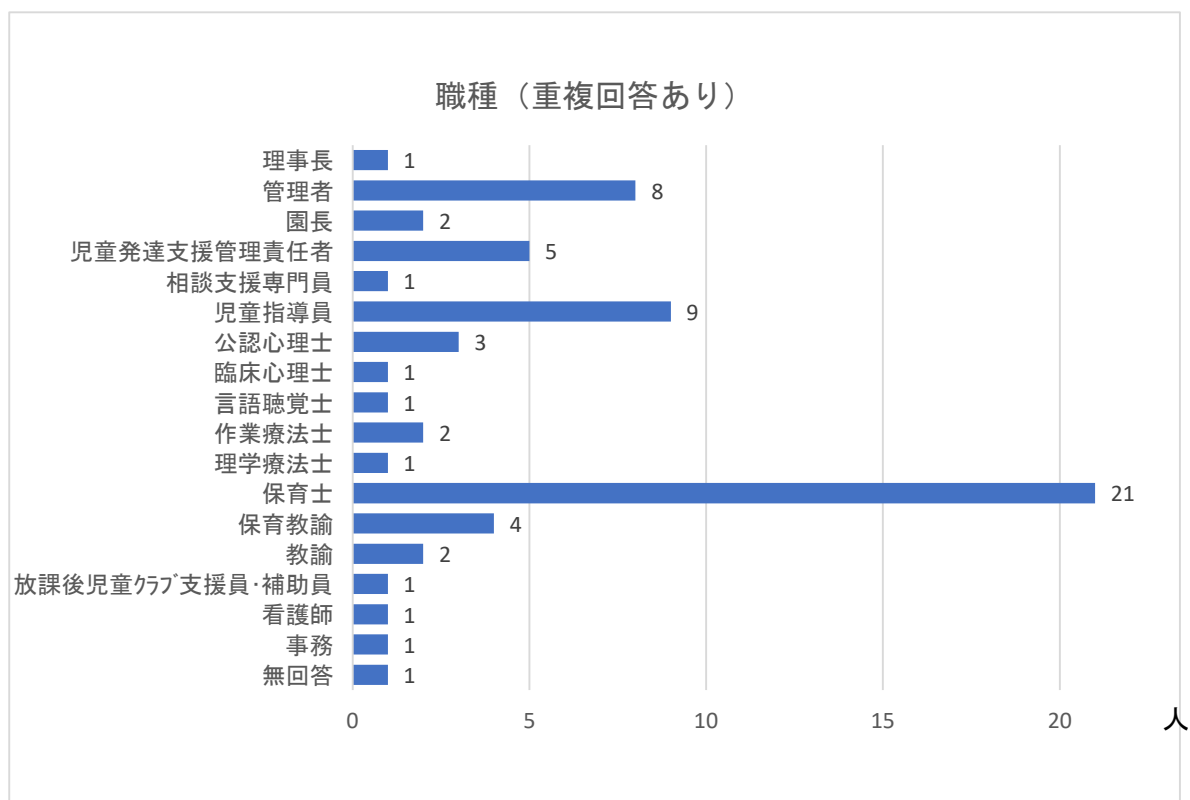
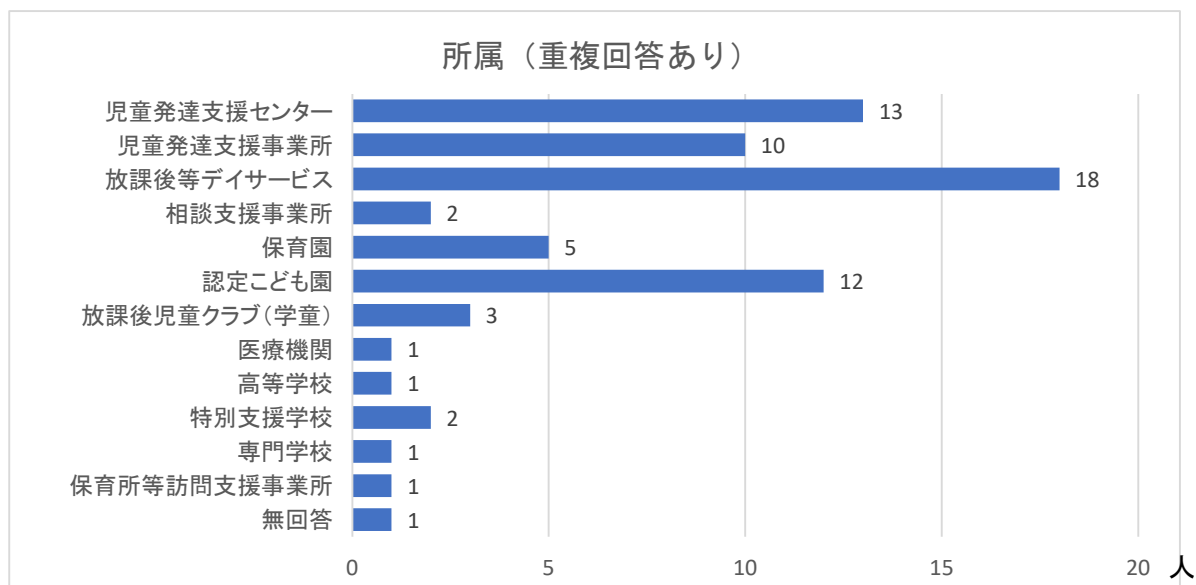
地域研修会「地域で育む こどもの力」アンケート

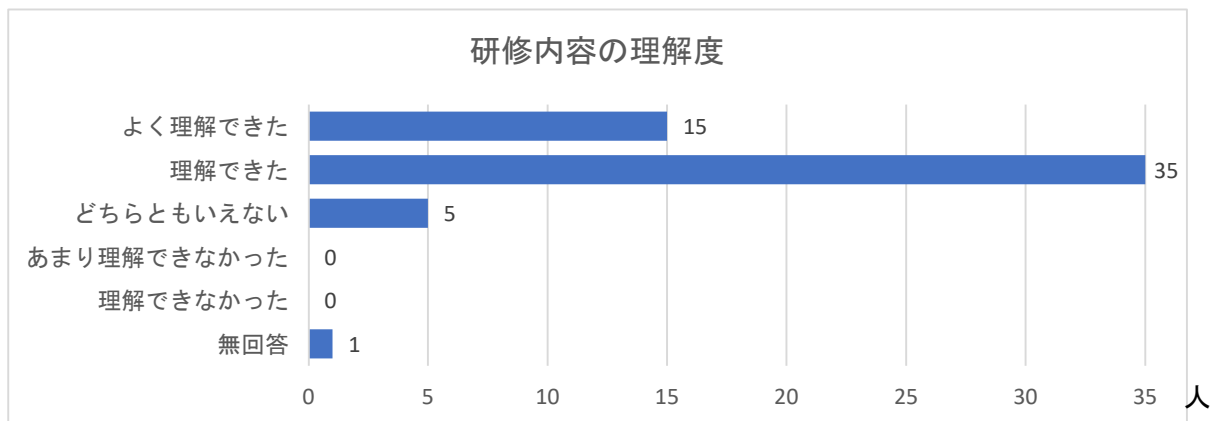
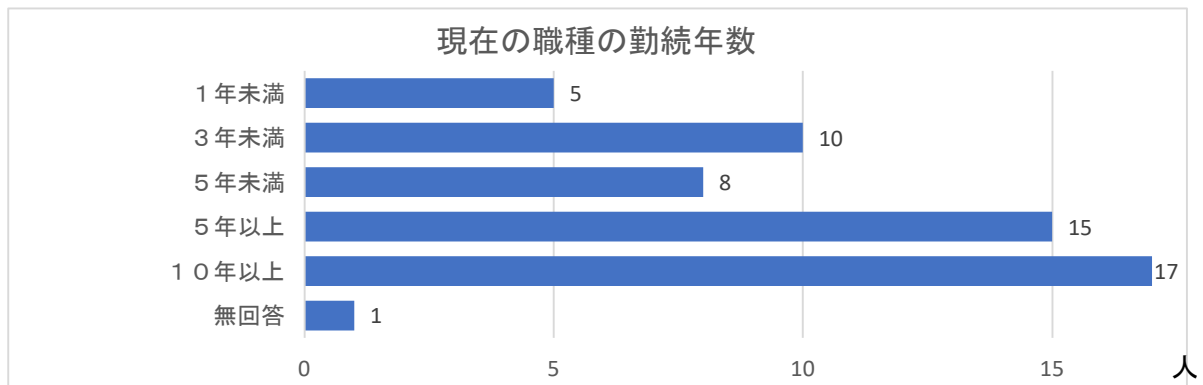
第2回 「ABAに基づく子どもの理解を促す支援法」 講師 今本 繁 先生

実施日 令和7年9月19日（金）

参加者 56名 アンケート回答者 56名

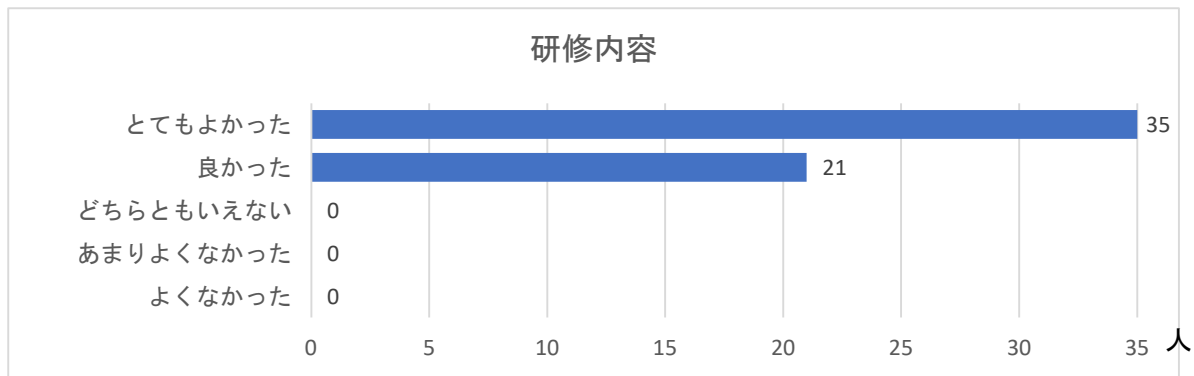
研修参加およびアンケートのご協力、ありがとうございました。





- 1 後半の意味理解、4 項随伴性についてもう少し詳しく知りたかった。
- 2 研修の中での課題について、グループの受講の方と考えを出し合って進める場面がありよかった。
- 3 後半（刺激等価性以降）の部分が理解が追いつかなかったので、自宅で復習したいと思った。
- 4 難しい内容があった。
- 5 本を読んでいたことの内容がわかった。
- 6 グループワークをはさむので、理解しやすかった。
- 7 前回の振り返りから始まり、一つずつ進んでいったので確認しながらできた。
- 8 4 項随伴性という言葉が 2 回でてきたので、少し頭が固まりましたが最後の意味理解に対して理解できた。
- 9 もう一度復習したいと思う。
- 10 絵カードの使い方がわかりやすかった。
- 11 MO, セッティング事象について知ることができた。
- 12 仕事で個別の活動や児の行動と照らし合わせながら話を聞くことで、場面状況を想像することができた。
- 13 環境整備の写真や動画、図などとても分かりやすかった。
- 14 初めて聞く支援方法がありましたが、イラストなどあったためわかりやすかった。
- 15 自分自身、前後の研修のつながりができておらず、見直しながら参加した。
- 16 演習 4 のときにどのように記入していいのかわからなかった。
- 17 グループワークの機会があり、学んだことをすぐに実践できたのでより、理解が深まったような気がする。
- 18 現場での療育と照らし合わせて支援の手段が見えた。
- 19 実際の困りごとを事例として考えたことでわかりやすかった。
- 20 イラストを交えていたためわかりやすかった。
- 21 動画や具体的な事例紹介だったためわかりやすかった。

- 22 実践で対応可能かわからない。
- 23 セッティング事象と意味理解について、もう一度振り返ってみるともう少し理解が深まると思う。
- 24 セッティング事象がよくわからなかった。
- 25 初めて聞く言葉がたくさんあり難しく思ったが、わかりやすい説明と資料で自分なりに理解できた。
- 26 かみ砕いたり、動画を活用したりして、目と耳から学ぶことができた。
- 27 終盤は内容量に対し時間が短かったので、なかなか追いつけなかった。資料を再度読み込みたい。
- 28 他の現場の方と事例について話せてよかった。
- 29 後半部分がよくわからなかった。
- 30 前回参加できなかったが、少しおさらいもあったため流れがわかってよかった。
- 31 より専門的な内容で、理解が難しいところがあったが、児の難しい行動に当てはめてみたいと思った。
- 32 図や写真、表などを用いて説明されていたため、難しい内容でもわかりやすかった。
- 33 後半部分がむずかしかった。



- 1 行動には先行事例が大きく影響しており、それも特性により様々だとグループ学習によって理解できた。
- 2 具体的な支援の話があり、勉強になった。
- 3 難しい内容だったが勉強になった。
- 4 絵カード、文字カードを使ってマッチングの練習、単語を読むようになる可能性の応用がよかった。
- 5 療育にすぐに生かせると思った。
- 6 3項で考えることが多いが、4項で考えることで、より子どもの理解につながると思った。
- 7 実際の指導場面の画像や動画がわかりやすくて良かった。
- 8 演習があり、実践しながら学べてよかった。
- 9 ABAについて初めて知り、学びになった。
- 10 前回と同じ子どもを想定して考えましたが、新たな考えを持つことができた。
- 11 事業所内での困りごとに対しての方法をいろいろ考える良い機会になった。
- 12 子どもの行動はとても難しく、4分析することで考えやすくなるのは嬉しく思う。
- 13 今回も他機関、多職種の方と意見交換ができて良かった。前回の内容を振り返りながら、さらに深められているように感じとても勉強になった。
- 14 様々な職種の人と話し合い、ABAについて理解を深めることができた。
- 15 事業所に戻って生かせるような話がたくさんあったので、活用したいと思った。
- 16 すぐに実践できそう。
- 17 困った利用者に対する方法をとっていきたい。

- 18 実際の困りごとを当てはめて考えられたのがよかった。
- 19 今本先生の説明がとても分かりやすかった。
- 20 合間にグループワークがあり、より理解が深められた。
- 21 とても勉強になった。これからの支援に生かしていきたい。
- 22 理論と実践（グループワーク）がありよかった。
- 22 セッティング事象と行動の法則を考えることで職員同士の共通理解ができる。
- 23 前回の復習を踏まえつつ、今回の内容につなげることができた。
- 24 グループワークで話し合えたのがよかった。
- 25 グループで事例を検討できた。
- 26 支援内容が動画を用いて説明されておりわかりやすかった。

感想

- 1 日常起こっている子どもたちの困り感を少しでもくみ取ってあげられる関わりができればと思っています。行動だけに目を向けず、深掘りして考えていきたいと思います。
- 2 ABAに基づく子どもの理解を促す支援法について、PBSの基本ステップで子どもの行動がどういう目的で起きているのか、支援環境をどのように調整するのか、などなど、新たな支援法を学ぶことができました。
- 3 子どもの困った行動を考える際に、MOやセッティング事象まで体系的に考えることで、「これが影響しているのかも？」と改めて気づいたり、考えを整理しやすかったりしました。今回の講義の内容を復習しながら日頃の支援に生かしていきたいと思いました。
- 4 内容について振り返りをすることができました。
- 5 事例検討の際、どうしても複雑な事例が出ることが多く、流れに当てはめて考えるのが、スムーズにいかないことがあるため、具体的な事例を事前に提示していただけるとより上手く話し合いが進められると思いました。
- 6 新しい視点を得られて、改めてABAについて整理できました。自分の臨床でも、学校や園への説明でもすぐに実践につなげたいと思います。
- 7 3回目も楽しみにしています。
- 8 4項随伴性で背景も考えることで、より指導支援の方向性がわかりやすかったです。日々の支援に生かしていきたいです。
- 9 子どもたちと接する際に、ABAを普段から意識しているつもりでしたが、改めて丁寧に分析しなおそうと、自分自身の振り返りになりました。次回もよろしくお願いします。
- 10 園で子どもたちの行動の意味をセッティング事象を取り入れて、かかわっていかうと思います。（かかわり方を工夫して）
- 11 文字を教える指導のステップをもう少しみ砕いた説明があるとよいと思いました。
- 12 弁別刺激を使った集団活動や個別活動に取り組んでいきたいと感じました。内容がより社会性なエッセンスを入れて取り入れることができたなら、就労支援にもつながると思ったので、実際に取り組んでいきたいと思います。ありがとうございました。
- 13 困った行動だけでなく、様々な視点から読み解いていくことが大切だと改めて学びを深めることができました。ありがとうございました。
- 14 1回目から受講させていただき、今回もイラストや用紙があり理解しやすかったです。前回とは違う新しい考え方も知ることができ、また、今後の支援に役立てたいと思います。
- 15 今の子どもたちの状態を、改めて考え共有し、なぜなのか何のために行っている行動なのかを考えることができました。
- 16 休憩時間がほしかったです。
- 17 子どもたちの行動を詳しい理由、意味を深く考える機会が今までなかったので、子どもがなぜ、その行動をするのか、今後、理解を深めたいと感じました。ありがとうございました。

- 18 とても面白い（興味深い）内容でした。復習して考えをまとめたいと思います。スキルにつながるといいなと思います。ありがとうございました。
- 19 次回の研修楽しみです。ありがとうございました。
- 20 次回の参加を楽しみにしています。
- 21 様々な職種の先生方とお話ができ、意見交換ができて良かったです。ABAのことをもっとよく知り、現場で生かしていきたいと思います。ありがとうございました。
- 22 今後の療育に生かしていきたいと思います。ありがとうございました。
- 23 3項随伴性はよく見かける方法ですが、4項随伴性になると一気に複雑になり、分析する側も難しいなと思いました。困った行動の背景になる環境を考えながら支援していきたい。
- 24 難しかったがとても勉強になりました。
- 25 最後の演習はサンプルが少なく提供がしづかったです。
- 26 わかりやすい説明で、次回もぜひ参加したいです。
- 27 子どもたちとの関わりを繰り返すことで、本日学んだことを身につけていきたいと思った。なぜ、その行動をするのか理解を深めることができた。
- 28 今一度、こどもの行動をよく分析したいと思います。
- 29 やっていることややっていたことが正解なんだという答え合わせができました。ありがとうございました。
- 30 絵カードを使用することがあるが、事前に子どもたちに絵カードの意味を教えただけで絵カードを使うようにしていかないといけないと思った。絵と文字のマッチングのやり方も、文字を絵として覚えることで絵と文字のマッチングができていくことを知れて良かったです。
- 31 問題行動の起きにくい環境整備についてなど、自閉症の人にとっての環境の整え方など学ぶことができた。事業所でも取り入れたいものがあつたのでうれしかったです。
- 32 同一見本合わせ、象徴的見本合わせでは、実際にグループで体験できた。「こうかな？」といった感じしかできなかったのも、グループをまわって教えてほしかったです。
- 33 次回の研修も楽しみです。
- 34 今は絵カードの意味が理解できなくても、手を洗うカードを見せ、手を洗いにいくことによってだんだんカードを見て、手を洗うと理解できるようになるため、わからなくてもみせて、一緒に行くようにしていきたいです。
- 35 絵カードが足りなかったこともあるため、再度、見合わせ指導の実習ができればと思いました。
- 36 活動スケジュールなどはカードを使っていたが、「待ってカード」は使ったことなく口頭のみで伝えていたため、今後使ってみようと思いました。
- 37 より専門的な内容になり、難しく感じましたが、子どもの行動を分析するにはとても役立つと思いました。
- 38 演習で利用者の行動について、グループで分析し、深めることができずごく勉強になりました。今後の支援に生かしたいと思います。具体的な仕方や方法が示されており、実際の療育の場面で挑戦してみたいなと思いました。
- 39 フローチャートをして分類していくことで、より行動の機能が具体化され、また、職員間で共有することで共通理解ができ、丁寧な支援につながると思った。
- 40 再度資料に目を通し、理解できるようにつとめたいです。
- 41 トークンとして使える物の基準を教えてくださいたいです。
- 42 問題行動に対して、複数の機能仮説、環境要因が考えられる際はどうしたらわかりやすく解決に向かえるでしょうか？